

仕事 ~~する~~ わたし

香川県善通寺市にある「四国こどもとおとなの医療センター」内を歩くと、壁に埋め込まれた手のひらのほどの扉をあちこちで目にする。思わず開けてみたくなるような不思議な雰囲気。中に入っているのは全国のボランティアから届けられた絵がぎやぬいくるみで、患者はいつでも扉を開けて受け取ることができ、思いがけない出会いに元気づけられる。

「これはアート作品であることも心を贈る交流の場なんです」。そう言いながら新しいぬいくるみをそっと置いた。

2013年に開院した医療センターは、医療施設にアートを取り入れてぬくもりと安らぎをもたらす「ホスピタルアート」を全国に先駆けて導入。専属のアートディレクターとして、外壁や内

# 患者の心まで彩る

森 合音さん(42)

ホスピタルアートディレクター  
つるぎ町半田木ノ内



壁に作られた隙間にプレゼントを置く森さん＝香川県善通寺市の四国こどもとおとなの医療センター

壁のデザイン案やインテリアの配色などを指揮している。エントランスのからくり時計や屋上庭園。従来の病院のイメージとは異なり、全体が統一感のある一つの芸術作品のようだ。

ホスピタルアートの道へと進んだのは、過去の悲しい出来事が源にある。03年12月、夫の正喜さん(享年30歳)が急逝した。朝、起こしにいくと冷たくなっていった。

正喜さんは、大阪芸術大写真学科の同級生。正喜さんの故郷・札幌市でデザイン事務所を立ち上げ、軌道に乗り始めたころだった。結婚してわず

か4年、娘2人は幼く「何かして育てなければ」という義務感に襲われている一方で、無力感が全体を覆った。「いきなり未来が断ち切られた。何のために生きているのか分からず、どん底だった」と振り返る。

そんなとき、ふと正喜さんの遺品のカメラを手にして散歩に出掛けた。目に留まったのは美しいコスモス。よく見ると根元にはこみが散乱し、泥にまみれていた。「この花は恵まれない環境の中、それでもきれいに咲こうとしている」。花に自分を重ね、シャッターを切った。自分の心を写すというアートで表現するうち、癒やされていく気がした。

04年に故郷のつるぎ町に帰った後、ホスピタルアートの存在を知り、08年に普及活動に取り組みNPO法人・アーツプロジェクト(大阪府)に加入した。「アートに救われた自分だからこそできることがあるのでは」と思った。

しばらくして、医療センターの前身・香川小児病院から同法人を通じてアートの導入を依頼される。うつなどに苦しむ入院中の子どもたちが怒りや悲しみを発散させようと壁を殴り蹴り、院内は穴だらけになっていった。「ここに優しく包み込むようなアートを取り入れられないか」。院長からの相談にクスノキの壁画を提案し、子どもたちが一枚一枚の葉を描いて完成させた。以降、壁に穴ができることはなかった。

森合音さんのスケジュール

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 5:30  | 起床、娘の弁当作り                          |
| 6:30  | 朝食                                 |
| 8:30  | 出勤<br>生け花の生け替え作業                   |
| 10:00 | 医師らと市民公開講座の<br>ポスターデザイン打ち合わせ       |
| 12:00 | 昼食                                 |
| 13:00 | 看護学校教員と学校案内<br>パンフレットに関する<br>打ち合わせ |
| 14:00 | 芸術家とアート企画の<br>打ち合わせ                |
| 16:00 | ボランティアと院内絵画<br>掛け替え作業              |
| 17:00 | 企画書の作成                             |
| 19:00 | 退勤                                 |
| 20:00 | 帰宅、入浴、夕食                           |
| 21:00 | 子どもと一緒にリラックス<br>タイム、読書             |
| 23:00 | 就寝                                 |

全国的に見ればホスピタルアートの取り組みはまだ少なく、さらなる普及を願う。「アートの力はすごい。1枚の絵が患者の不安を和らげる効果を持っている。即効薬ではないけれど、全ての人にじわりと効く薬ではないでしょうか」。アートに癒やされた一人として、誰よりもその効果を実感している。